

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千五百九十九號

昭和十九年一月二十五日 (火)

海軍大臣官房

○令 達

官房經第七四號

昭和十五年官房第一六四五號中左ノ通改正ス

昭和十九年一月二十四日

海軍大臣

「海軍工員規則第八十條」ヲ「戰時海軍工員規則第七十四條」ニ改ム

(參照) 海軍會計法規類集卷二、六三二頁

○通 牒

兵備二機密第九九號

昭和十九年一月二十二日

海軍省兵備局長

各 廳 長 殿

自動車保有現在數調査ニ關スル件照會

自動車需給調整資料トシテ必要ニ付各廳ニ於テ現ニ使

海軍公報 (部内限) 第四千五百九十九號

昭和十九年一月二十五日

九三

用(又ハ保管)中ノ自動車ヲ別紙様式ニ依リ調査ノ上内地ニ在リテハ二月末日迄ニ、外地ニ在リテハ三月末日迄ニ回答相成度
(別紙三葉添)

經豫機密第五號ノ一

昭和十九年一月十二日

海軍省經理局長
海軍省兵備局長

關係各廳長殿

雇員、傭人、工員及傭員用寄宿舎トシテ部外家屋借用ニ關スル件通牒

當分ノ問各廳ニ於テ一時ニ多數ノ雇員、傭人、工員等ヲ徵用又ハ採用シ之ガ居住ニ充ツベキ官設寄宿舎ノ施設不足ノ場合ニハ補足下シテ左記ニ依リ寺院、料理店其ノ他集團生活ニ適スル部外家屋ヲ賃借シ海軍工員寄宿舎ト同様ニ取扱ヒ差支無之

追テ昭和十五年艦本第六六一四號同第七六九〇號及同第八八五號ハ自然消滅ノ義ト了知相成度

0256

記

- 一 借用家屋 三十名以上收容シ得ルモノヲ標準トス
- 二 家屋借料 一人當リ月額五圓以内トス
- 三 經費支辨科目(區分)
 - (イ) 工作廳(火藥廠ヲ除ク)

附屬費(整理符號六)

- (ロ) 燃料廠、火藥廠 作業費、雜給及雜費、雜件費
- (ハ) 衣糧廠 衣糧費、雜費
- (ニ) 療品廠 患者費、雜費
- (ホ) 施設部 營繕費、作場費
- (ヘ) 港務部 軍港要港費、浚渫費
- (ト) 水路部 水路費、雜費
- (チ) 軍需部 造船造兵及修理費、雜費

(リ) 其ノ他

四 前各號ニ依リ部外家屋ヲ借用シタル場合ハ別紙調書ニ依リ海軍省經理局長及各系別ニ從ヒ海軍艦政本部長、海軍航空本部長、海軍施設本部長等ニ之ヲ通報スルモノトス

(別紙添)

○ 辭 令

臺灣總督府地方技師 安達 敬智
 海南警備府ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(昭和十七年海軍省)

室 伊三郎

武市 完爾

關谷 孝次

鹽谷 與平

西村 藤一

藤岡 賢一

(各通)

囑託(軍屬船員)ヲ命シ部内限奏任官待遇トス
(昭和十八年)

(昭和十八年)

燃料局書記官 佐枝 新一

海軍省軍需局ニ於ケル事務ヲ囑託ス(昭和十八年)

湯本 義香

ニユーギニア民政部ニ於ケル事務囑託ヲ解キ第百二

海軍病院ニ於ケル醫療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇

トス(昭和十八年)

吉村 清

マカツサル研究所ニ於ケル事務ヲ囑託ス

0257

但シ報酬年額貳千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年十一月二十五日同)

新竹海軍航空隊齒科治療業務囑託

竹蓋 莊四郎

鹿屋海軍航空隊齒科治療業務ヲ囑託ス

片山 清次

特設海軍燃料廠補給部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限

勅任官待遇トス

西澤 善雄

特設海軍燃料廠補給部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限

奏任官待遇トス(以上二同)

松村 二郎

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

柳田 修

(各通)

水野 宗治

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(二同)

(各通)

松本 政一

高雄海軍施設部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

臺灣總督府技師 同 西海枝滿壽夫

第十一海軍航空廠工員養成所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

同

浅野 武雄

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上二同)

(各通)

海軍少佐 和田 忠相

海軍技術少佐 高橋 功夫

海軍技術大尉 平井 數馬

第二課勤務ヲ免シ整備班員ヲ命ス

兼ネテ第二課勤務ヲ命ス(昭和十八年十一月二十五日海軍省軍需局)

海軍大佐 秋重 實惠

整備班長ヲ命ス

海軍中佐 三枝 七五三

整備班員ヲ命ス(以上昭和十八年十一月二十五日同)

海軍技術大尉 山下 多賀雄

整備班勤務ヲ命ス(昭和十八年十一月二十五日同)

海軍技術大尉 大友 恒夫

同 貴田 勝造

同 須原 逸郎

0258

(別紙)

借用家屋

(昭和十九年一月二十五日海軍公報(部内限))

借用ヲ要スル理由及家賃内譯	全收容計畫トノ關係	官設寄宿舎トノ關係	家賃内譯及全費ト入關係	其ノ他	所在場所	所有者	延建 坪築	延土 坪地	收容員ノ 種別員數	疊數	家賃月額		借用豫定 期間
											一人當 金額	額	

- 借用ヲ要スル理由及家賃内譯
- 一 全收容計畫トノ關係
- 二 官設寄宿舎トノ關係
- 三 家賃内譯及全費ト入關係
- 四 其ノ他

0260

(別紙)

車名一覽表

(昭和十九年一月二十五日海軍公報(部内限))

番記 號載	車名	番記 號載	車名	番記 號載	車名
13	オースチン	25	ウエイリス		
12	カデラック	24	ウヰリ、スナイト		
11	ビューイック	23	スチュードベーカー		
10	パツカード	22	ポンテアーク	34	ダットサン
9	ナツシユ	21	オルズモビル	33	くろがね
8	ハドソン	20	オー克蘭ド	32	マツダ
7	エセツクス	19	マーカーモン	31	ダイハツ
6	ダツト	18	リンカーン	30	トヨダ
5	デソート	17	セラール	29	ニッサン
4	クライスラー	16	ハツプロビール	28	イスズ
3	プリムス	15	グ、ラハム	27	スミダ
2	シボレー	14	デュラント	26	チヨダ
1	フォード				

0261

(別紙様式)

(昭和十九年 月二十五日海軍公報(部内誌))

自動車保有臺數調 (昭和十九年一月一日現在)
(廳 名)

車種	車名	年式	代燃装置ノ種類	現在ニ於ケル走行紵數	購入年月	要代替時期	保管又ハ貸借中ノモノ			合計臺數
							保管	他へ貸與	他ヨリ借用	
貨物自動車	フォード	40型	木炭	150,000	昭11.4	昭20.4				
同	シボレー	39型	/	250,000	/	/			横需	
同	プリムス	38型	/	300	昭16.1	/	1			
計										3
← 30 →	← 30 →	← 20 →	← 15 →	← 17 →	← 15 →	← 15 →	← 10 →	← 25 →	← 25 →	← 10 →

0262

- (記載例) 1. 車種、車名欄ハ下記ニ依リ記註サレ度
- (イ) 車種欄ハ車種一覽表ニヨツテ記註シ車種毎ニ別紙ニ調製ス
 - (ロ) 車名欄ハ車名一覽表ニヨリ記載番號順ニ記註スルコト
 - (ハ) 一覽表ニ掲記シアラザルモノニ就テハ適宜記註セラレ度
2. 走行紵數ハ100紵未滿ハ切捨ルコト
3. 保管又ハ貸借欄ハ下記ニ依リ記註サレ度
- (イ) 保管中ノモノハ其ノ臺數ニ記註スルコト
 - (ロ) 貸借中ノモノハ貸與先又ハ借用元ノ所轄名ヲ明記スルコト
4. 合計欄ハ各車種毎ニ集計スルモノトス
5. 記載事項ナキ欄ハ斜線ヲ以テ消スコト
6. 調査期日ハ昭和十九年一月一日現在トス
7. 編綴ハ車種一覽表ノ編綴番號順ニスルコト
8. 用紙ハ十三行模造野紙ヲ使用シ各欄ノ寸法ハ様式例示ノ通トナスコト
9. 故障車其他ノ遊休車アルトキハ合計臺數欄ニ其ノ臺數ヲ朱書スルコト
10. 本調書ハ軍極秘扱トスルコト

(別紙)

種 類 一 覧 表

(昭和十九年一月二十五日海軍公報(部内限))

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番編 號級	車 種
雪 上 自 動 車	消 防 三 輪 車	消 防 兼 撒 水 自 動 車	消 防 自 動 車	乘 合 自 動 車	自 動 三 輪 車	側 車 付 自 動 自 轉 車	小 型 貨 物 自 動 車	小 型 自 動 車	四 輪 驅 動 貨 物 自 動 車	貨 物 自 動 車	四 輪 驅 動 乘 用 自 動 車	乘 用 自 動 車		
26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	14	番編 號級	車 種	
燃 料 自 動 車	ダ ン プ 自 動 車	起 動 機 車	ウ イ ン チ 車	牽 引 自 動 車	起 重 機 自 動 車	探 照 燈 車	鑿 井 機 車	重 油 運 搬 車	魚 雷 運 搬 車	撒 水 車	撒 水 兼 除 雪 車	除 雪 自 動 車		
	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	番編 號級	車 名
	デ イ ゼ ル 貨 物 自 動 車	小 型 特 殊 自 動 車	糞 尿 運 搬 車	汚 水 運 搬 車	患 者 運 搬 車	電 氣 自 動 車	草 刈 車	無 線 實 驗 車	製 氷 車	梯 子 自 動 車	地 均 自 動 車	濾 過 自 動 車		

0263

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十九年二月二十五日 (火)
海軍大臣官房

○ 辭 令

第六雲海丸船長 糸山 市次

同 一等運轉士 木下 松次

同 機關長 糸滿 盛良

(以上昭和十六年八月九日附)

第六雲海丸一等機關士 遠藤 省一郎

(昭和十六年八月十一日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上海軍省)

氷川丸首席一等機關士 熱田 晃

(昭和十七年四月二十日附)

氷川丸首席三等運轉士 山崎 善一

(昭和十七年六月十日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同)

吾妻丸首席二等機關士 江越 學

(昭和十七年八月六日附)

吾妻丸事務長 原 兵介

(昭和十七年八月十四日附)

吾妻丸事務長 伊東 米作

(昭和十七年十月十一日附)

吾妻丸首席三等機關士 辻田 鐵太郎

(昭和十八年二月二十三日附)

吾妻丸事務長 中澤 英一

(昭和十八年二月二十七日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同)

囑託 工藤 蜜吉

廣徳丸ニ於ケル事務囑託ヲ解ク (昭和十八年二月二十七日附)

日新丸二等機關士 廣瀬 作次郎

囑託ヲ解ク (昭和十八年二月二十七日附)

さんらもん丸一等運轉士 富田 福治

(昭和十八年一月二十四日附)

さんらもん丸 主任無線通信士兼事務長 中川 直始

(昭和十八年十月一日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同)

青南丸一等運轉士 黒村 元行

(昭和十八年四月七日附)

青南丸一等機關士 珠山 盛男

(昭和十八年八月十二日附)

海軍公報 (部内限) 號外

0264

(各通)

青南丸船長 吉住 種美

(昭和十八年八月十五日附)

青南丸 船長 高橋 頼光

同 機關長 坪上 壽一

同 二等機關士 柳 一男

同 無線局長 市原 義雄

(以上昭和十八年八月三十一日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

とよさか丸船長 小竹 豊二

(昭和十八年五月一日附)

(各通)

とよさか丸船長 中垣 俊雄

同 一等機關士 島住 増徳

(以上昭和十八年六月十七日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

とよさか丸船長 小竹 豊二

囑託ヲ解ク(昭和十八年五月一日附)

とよさか丸船長 塩崎 政義

同 一等機關士 古谷 美穂

囑託ヲ解ク(昭和十八年六月十七日附)

囑託(無線機關長) 伊藤 基一

横須賀海軍港務部ニ於ケル業務ヲ囑託ス(待遇如故)

(昭和十八年五月十四日附)

囑託 伊藤 基一
横須賀海軍港務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(昭和十八年五月十四日附)

いくしま丸機關長 上床 篤三

(昭和十八年五月十九日附)

いくしま丸船長 塩崎 政義

(昭和十八年七月三日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

第五雲海丸一等運轉士 岩脇 定夫

(昭和十八年七月三日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年七月三日附)

第五雲海丸船長 西 清

同 二等運轉士 鶴田 良衛

同 機關長 藤本 朗之助

同 一等機關士 北村 貞雄

同 無線局長 疋田 健三

同 一等運轉士 岩脇 定夫

囑託ヲ解ク(昭和十八年七月二日附)

朝日山丸機關長 野村 敏彦

(昭和十八年七月二日附)

朝日山丸船長 中川 亮信

(昭和十八年七月十四日附)

囑託(無線機關長) 伊藤 基一

朝日山丸一等機關士 小竹 次夫

(昭和十八年七月二十八日附)

朝日山丸一等運轉士 安 武 晃
(昭和十八年八月二日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

康寧丸 機關長 糸 山 境
同 一等運轉士 上谷 孫八
(以上昭和十八年七月四日附)

(各通)

康寧丸主任無線通信士 久川 直惠
(昭和十八年七月九日附)

康寧丸船長 山本 石夫
(昭和十八年七月十九日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

桑港丸一等運轉士 本村 靜雄
(昭和十八年七月九日附)

桑港丸船長 沖津 嘉重郎
(昭和十八年七月十三日附)

(各通)

桑港丸機關長 坪田 一郎
(昭和十八年七月十五日附)

桑港丸主任無線通信士 遠藤 喜一
(昭和十八年七月十九日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

海光丸機關長 森下 定雄

囑託ヲ解ク(昭和十八年七月十九日附)

妙高丸 船長 山根 峯一

(各通)

囑託ヲ解ク(昭和十八年八月二日附)

同 一等運轉士 岡本 金一
同 機關長 利光 憲士
同 通信局長 荒木 稔
同 一等機關士 藤田 一郎

囑託ヲ解ク(昭和十八年八月二日附)

山國丸機關長 末永 孝藏
山國丸機關長 合田 平吉
(昭和十八年八月二十二日附)

(各通)

山國丸一等運轉士 緒方 卓
(昭和十八年九月七日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

萬光丸一等運轉士 中山 辰雄

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年七月十九日附)

龍野丸 船長 中島 秋藏

同 二等運轉士 門脇 一夫

同 機關長 萱葺 慶治郎

同 一等機關士 小西 熊太郎

同 二等機關士 有光 敬治郎

同 無線局長 白井 友記

同 事務長 杉森 向武

同 一等運轉士 吉原 慶助

0266

(各通)

同	日鉄丸	船長	小原	秀一
同	機關長	石井	茂生	
同	一等運轉士	南	義盛	
同	一等機關士	中野	弘	
同	西安丸	船長	遠藤	吟三
同	一等運轉士	柳澤	誠三郎	
同	機關長	戸崎	政市	
同	一等機關士	放生	宗一	
同	通信局長	鎌田	達男	
同	崙山丸	船長	菊地	長吉
同	一等運轉士	明田	末一郎	
同	機關長	山本	謙治	
同	一等機關士	高橋	良則	
同	無線局長	西田	一二	
同	春丸	船長	西	豊
同	一等運轉士	田頭	俊平	
同	機關長	松田	五郎	
同	首席一等機關士	東山	富士男	
同	無線局長	佐々木	一夫	
同	事務長	澄川	薫	
同	太湖丸	船長	小村	金弼

囑託ヲ解ク(以上昭和十八年八月三十一日附同)

德和丸一等運轉士 三上 雄一

(各通)

德和丸船長 佐々木三之助

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

盛安丸 船長 吳 清治

(各通)

同 一等運轉士 小宮山 國勝

同 機關長 倉岡 才二

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上昭和十八年八月三十一日附同)

同 一等機關士 遠山 安治

囑託ヲ解ク

兩德丸一等運轉士 江山 道三

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上昭和十八年八月三十一日附同)

兩德丸一等運轉士 森田 一之

(各通)

那須山丸 船長 村上 鐵藏

同 一等運轉士 福元 治郎

同 機關長 金澤 富藏

0267

囑託ヲ解ク(昭和十八年) 同 一等機關士 大野喜一郎

陸洋丸船長 内川 徹男
(昭和十八年九月二十日附)

陸洋丸一等機關士 小野 稔
(昭和十八年九月二十三日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年) 北安丸一等運轉士 神農 輝男

日營丸 船長 曾根 與三郎
同 機關長 滝川 耕作

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年) 同 一等機關士 高岡 富三郎

那岐山丸二等機關士 吉田 正博
(昭和十八年九月二十八日附)

囑託ヲ解ク(以上同) 那岐山丸二等運轉士 八角 保
(昭和十八年十月八日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年) 那岐山丸船長 竹田 國光

木津川丸 船長 酒井 忠助
同 一等運轉士 和田 實
同 機關長 本間 昂

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年) 同 一等機關士 網代 芳男

唐山丸一等運轉士 木村 正二
同 機關長 諸岡 勇次郎

同 一等機關士 廣瀬 則豊
同 二等機關士 加藤 清

通信局長 柴田 恒司
(以上昭和十八年九月三十日附)

囑託ヲ解ク(以上同) 唐山丸船長 米永 嘉吉
(昭和十八年十月十五日附)

山鬼山丸一等運轉士 山岡 茂里松
同 機關長 桑原 多三

主任無線通信士 橋本 績
(以上昭和十八年十月八日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同) 山鬼山丸船長 宮本 與三吉
(昭和十八年十月十四日附)

雄鳳丸 船長 森末 博
同 一等運轉士 津田 知隆
同 二等運轉士 米津 徳美
同 機關長 永山 泰

雄鳳丸一等機關士 松屋 九八
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

五洋丸 船長 井上 豊之丞
同 一等運轉士 渡邊 文一
同 二等運轉士 大久保 宗次郎
同 機關長 橋本 嘉人
同 一等機關士 本條 健一
同 無線局長 増原 喜一

囑託ヲ解ク(以上 擢昇同)

(各通)

第十二雲海丸船長 田坂 七郎
同 一等運轉士 岡 綿 古
同 二等運轉士 古江 元
同 機關長 吉武 猛夫
同 一等機關士 西村 虎男
同 二等機關士 石川 秀男
(以上昭和十八年十月十二日附)

第十二雲海丸主任無線通信士 法月 善太郎
(昭和十八年十月十七日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

大邦丸 船長 丸橋 嘉吉
同 一等運轉士 横見 幸之進

(各通)

同 機關長 森 齊 藏
同 一等機關士 工藤 孝
同 事務長 阪根 寅次
同 主任無線通信士 松原 克己
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

屏東丸 船長 佐藤 護
同 二等運轉士 吉田 晃
同 事務長 小野 一郎
同 無線局長 大道寺 義一
囑託ヲ解ク(以上 擢昇同)

(各通)

彦島丸 船長 岩下 常夫
同 一等運轉士 永井 八郎
同 機關長 村上 勇次郎
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(擢昇同)

(各通)

備前丸 船長 高田 虎藏
同 一等運轉士 仙石 知保
同 機關長 齋藤 郁之助
同 一等機關士 高儀 淺治
同 二等機關士 山内 正男
同 主任無線通信士 伊東 駒重
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(擢昇同)

總洋丸一等機關士 松本 鐵夫
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年十一月二十五日附)

朝日丸一等運轉士 中原 廉治
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス

壽山丸 船長 金子 八郎
同 一等運轉士 栗原 隆吉
同 機關長 寶積 百々治
同 一等機關士 中村 成二

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上昭和十八年十一月二十五日附)

第二日新丸一等運轉士 青木 松重
囑託ヲ解ク(昭和十八年十一月二十五日附)

日本海丸 船長 永田 音松
同 一等運轉士 南保 久作
同 機關長 山中 貞雄
同 一等機關士 藤井 繁一

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス

第十六日正丸船長 山口 市太郎
同 一等運轉士 木村 長平
同 機關長 加藤 良男
同 一等機關士 小財 捨次郎

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上昭和十八年十一月二十五日附)

那智山丸一等運轉士 吉岡 前
(昭和十八年十一月二十五日附)
那智山丸一等機關士 上田 弘
(昭和十八年十一月二十五日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

山幸丸一等運轉士 卷幡 純三
囑託ヲ解ク

山幸丸一等運轉士 佐野 俊範
囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上昭和十八年十一月二十五日附)

高砂丸一等運轉士 江藤 禎造
囑託ヲ解ク(昭和十八年十一月二十五日附)

羽黒丸機關長 堤 政義
囑託ヲ解ク(昭和十八年十一月二十五日附)

羽黒丸 二等運轉士 二宗 義男
同 主任無線通信士 荒木 稜
(以上昭和十八年十一月二十四日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

東星丸 船長 澤野 悟郎
同 一等運轉士 徳永 秀二
同 機關長 北村 初太郎
同 一等機關士 山下 喜治

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

東星丸主任無線通信士 高井 義一
同 二等運轉士 下松 哲雄

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (昭和十八年十一月十六日附)

愛宕丸二等機關士 手島 功一

囑託ヲ解ク (昭和十八年十一月十六日附)

氷川丸首席一等機關士 水野 嘉六

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (昭和十八年十一月十六日附)

宮崎丸一等機關士 入澤 輝雄

(各通)

宮崎丸船長 各務 重治

宮崎丸首席三等機關士 河野 江郎

(昭和十八年十一月十九日附)

囑託ヲ解ク (以上同)

宮崎丸一等機關士 榎 本 實

(昭和十八年十一月十六日附)

宮崎丸船長 清水 清治

(昭和十八年十一月十九日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同)

廣田丸主任無線通信士 坂内 慶三郎

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (昭和十八年十一月十六日附)

0271

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十九年一月二十五日(火)
海軍大臣官

○ 辭 令

○昭和十九年一月十五日

任海軍屬兼海軍錄事

岩崎 正雄

給四級俸

桑原 弘

任海軍屬兼海軍書記

給九級俸

中鉢 久五郎

(各通)

池田 昇吉

任海軍書記

給二級俸

鈴木 留四郎

(各通)

宮本 武雄

任海軍書記

給三級俸

任海軍書記兼海軍屬
給四級俸

(各通)

板倉 金吾
坂元 剛
西田 進

任海軍書記
給四級俸

南洋廳屬

藤本 達

(各通)

丸山 文雄
竹重 喜助
三好 進
近藤 信吾
中村 克巳
塩田 義勅

任海軍書記
給五級俸

村上 充

富田 五郎
昭和十九年一月二十五日
接 受

0272

海軍公報 (部内限) 號外

(各通)

野内 庚治
尾崎 榮三
田畑 益秀
江口 武三
山口 兵治

任海軍書記
給六級俸

(各通)

磯崎 一馬
中嶋 憲夫
宇佐美 英夫

任海軍書記
給月俸七拾圓

(各通)

古宮 保治
小川 芳介
布施 求一
白鳥 博昭

任海軍書記
給七級俸

任海軍書記
給月俸六拾圓

小野 清毅

(各通)

任海軍書記
給八級俸

菅原 正憲
甲斐 哲郎
永井 正朝

任海軍書記
給九級俸

末吉 太郎

任海軍錄事兼海軍屬

司法屬 大野 六之助

給四級俸

海軍警査 松井 清

任海軍錄事
給六級俸

裁判所書記 宮内 秀高

任海軍錄事
給八級俸

中村 文雄

任海軍錄事
給九級俸

加藤 茂

任海軍編修書記
給七級俸

0273

(各通)

任海軍技手
給四級俸

青木廣治	幸克己	有田俊雄	水嶋實	森仁之	本森繁松	山口信一	加藤悦雄	佐藤勝三郎	久都内登喜男	大澤正次	福永時政	谷川正衛	庄司安男	濱口鶴松	岩本一夫	高本昇	森木泰雄	小野田正則
------	-----	------	-----	-----	------	------	------	-------	--------	------	------	------	------	------	------	-----	------	-------

(各通)

任海軍技手
給五級俸

上柏利治	藤本久夫	三谷以足	楠茂	小林照夫	詫間正	加藤銀藏	福眞吉銳	横尾真喜	青野儀明	佐々木睦人	富川利晴	和田勇三	山本榮次郎	菊地昇	黒田亀吉	野高繁義	上藤盛雄	高橋誠一
------	------	------	----	------	-----	------	------	------	------	-------	------	------	-------	-----	------	------	------	------

(各通)										(各通)																									
任海軍技手 給六級俸										任海軍技手 給七級俸																									
戸	天	根	古	岡	相	本	田	小	大	細	八	今	辻	梅	舛	菅	北	峠	水	津	岸	澤	本	馬	島	川	森	津	川	木	野	原	岡	原	條
文	正	一	光	米	一	亥	正	通	敏	義	清	泉	和	友	三	慎	傳	貢	雄	八	朗	年	次	雄	三	人	夫	夫	一	彌	治	郎	二	三	三
任海軍技手 手給月俸六拾圓										任海軍技手 手給月俸七拾圓																									
(各通)										(各通)																									
中	門	原	長	白	小	大	淺	那	生	小	沖	吉	吉	工	塔	家	本	井	石	倉	島	野	須	島	森	川	田	藤							
太	精	勝	次	昇	久	綱	一	利	米	茂	丈	唯	夫	保	郎	吉	利	夫	清	藏	一	男	美	陸	夫	夫	文								

0276

任海軍技手 給八級俸	關根 三郎
海軍警査ヲ命ス 月俸五拾圓ヲ給ス	山本 治男
海軍省法務局附ヲ命ス	海軍屬 岩崎 正雄
海軍大臣官房附ヲ命ス	同 桑原 弘
海軍大臣官房勤務ヲ命ス	同 富田 重壯
海軍省法務局附ヲ命ス	同 大野 六之丞
東京軍法會議附ヲ命ス	海軍書記 岩崎 正雄
海軍艦政本部附ヲ命ス	同 桑原 弘
相模海軍工廠附ヲ命ス	同 中鉢 久五郎
姫路海軍航空隊附ヲ命ス	同 池田 昇吉
海軍艦政本部勤務ヲ命ス	同 渡邊 正之
横須賀海軍軍需部附ヲ命ス	同 鈴木 留四郎
高雄海軍軍需部附ヲ命ス	同 宮本 武雄
海軍艦政本部附ヲ命ス	同 富田 重壯
海軍航空本部附ヲ命ス	同 板倉 金吾
第二十一海軍航空廠鹿屋支廠附ヲ命ス	同 坂元 剛
舞鶴海軍經理部附ヲ命ス	同 西田 進
水路部附兼海軍氣象部附ヲ命ス	同 藤本 達
水路部附ヲ命ス	同 丸山 久雄
第一百海軍燃料廠附ヲ命ス	同 竹重 喜功
佐世保海軍工廠附ヲ命ス	同 三好 進

0277

沼津海軍工廠勤務ヲ命ス	同	近藤 信吾
多賀城海軍工廠勤務ヲ命ス	同	中村 克巳
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	塩田 義勅
第百一海軍燃料廠附ヲ命ス	同	村上 充
第二十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	野内 庚治
海軍經理學校附ヲ命ス	同	尾崎 榮三
(各通)	同	田畑 益秀
第二十一海軍航空廠勤務ヲ命ス	同	江口 武三
佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス	同	山口 兵治
第二海軍燃料廠附ヲ命ス	同	磯崎 一馬
第百一海軍燃料廠附ヲ命ス	同	中嶋 憲夫
「フイリピン」國在勤帝國大使館附武官附ヲ命ス	同	宇佐美 英夫
(各通)	同	古宮 保治
海軍艦政本部勤務ヲ命ス	同	小川 芳介
(各通)	同	布施 求一
海軍航空本部勤務ヲ命ス	同	白鳥 博昭
吳海軍人事部附ヲ命ス	同	小野 清毅
海軍航空本部勤務ヲ命ス	同	菅原 正憲
詫間海軍航空隊附ヲ命ス	同	甲斐 哲郎
海軍航空本部附ヲ命ス	同	永井 正朝
第三百三海軍經理部附ヲ命ス	同	末吉 太郎
東京軍法會議附ヲ命ス	同	海軍錄事 大野 六之齋
大阪警備府軍法會議附ヲ命ス	同	松井 清

海軍公報 (部内限) 號外

七

0278

佐世保鎮守府軍法會議附ヲ命ス	海軍錄事	宮内 秀高
鎮海警備府軍法會議附ヲ命ス	同	中村 文雄
水路部附ヲ命ス	海軍編修書記	加藤 茂
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	海軍助教	松本 武
海軍航空技術廠附ヲ命ス	同	木村 博
三重海軍航空隊附ヲ命ス	同	湯浅 恒俊
(各通)	同	鴨宮 英迅
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	田村 弘
横須賀海軍砲術學校附ヲ命ス	同	松矢 要治郎
(各通)	同	山部 正幸
海軍航空技術廠附ヲ命ス	同	平賀 繁
舞鶴海軍刑務所附ヲ命ス	海軍監獄看守長	近藤 佐源太
海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ命ス	同	佐伯 百助
第三海軍燃料廠附ヲ命ス	海軍技手	木村 高二
横須賀海軍工廠勤務ヲ命ス	同	宇留嶋 末藏
海軍艦政本部附ヲ命ス	同	石渡 幹
横須賀海工廠勤務ヲ命ス	同	櫛引 英清
佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス	同	萩原 忠重
舞鶴海軍工廠附ヲ命ス	同	松尾 嘉藤太
(各通)	同	前田 益吉
舞鶴海軍工廠勤務ヲ命ス	同	瀬野 安藏
海軍航空本部勤務ヲ命ス	同	高木 藤吉
	同	中向井 清一

0279

沼津海軍工廠附ヲ命ス	同	小塚 正幸
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	横山 末吉
(各通)	同	吉永利一
佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス	同	松尾 豊
第四海軍工作部附ヲ命ス	同	豊増 福二郎
横須賀海軍工廠勤務ヲ命ス	同	齊藤 和一
海軍航空技術廠附ヲ命ス	同	福田 守之助
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	増木 太郎
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	田村 定敏
海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ命ス	同	金子 恒二
第十一海軍航空廠勤務ヲ命ス	同	小野田 正則
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	森木 泰雄
吳海軍工廠附ヲ命ス	同	高本 昇
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	岩本 一夫
海軍艦政本部附ヲ命ス	同	濱口 鶴松
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	庄司 安男
佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス	同	谷川 正衛
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	福永 時政
大湊海軍施設部勤務ヲ命ス	同	大澤 正次
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	久都内 登喜男
第四海軍施設部附ヲ命ス	同	佐藤 勝三郎
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	加藤 悦雄

海軍公報 (部内限) 號外

九

0280

佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス	海軍技手	山口信一
同		本森繁松
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	森仁之
舞鶴海軍工廠勤務ヲ命ス	同	水嶋實
舞鶴海軍工廠附ヲ命ス	同	有田俊雄
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	幸克己
海軍航空本部勤務ヲ命ス	同	青木廣治
第六十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	高橋誠一
横須賀海軍工廠附ヲ命ス	同	上藤盛雄
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	野高繁義
海軍艦政本部勤務ヲ命ス	同	黒田亀吉
横須賀海軍工廠勤務ヲ命ス	同	
(各通)		
横須賀海軍工廠附ヲ命ス	同	菊地昇
同	同	山本榮次郎
同	同	和田勇三
同	同	富川利晴
同	同	佐々木睦人
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	青野儀明
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	横尾真喜
佐世保海軍工廠附ヲ命ス	同	福眞吉銳
第四十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	加藤銀藏
第一海軍火藥廠附ヲ命ス	同	詫間正
横須賀海軍工廠勤務兼吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	小林照夫
横須賀海軍工廠勤務ヲ命ス	同	楠茂
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	

0281

吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	三谷以足
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	藤本久夫
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	上柏利治
(各通)	同	峠貢
第十一海軍航空廠附ヲ命ス	同	北條傳三
海軍航空技術廠附ヲ命ス	同	菅原慎二
第十一海軍航空廠勤務ヲ命ス	同	舛岡三郎
(各通)	同	梅原友治
第三百三十一設營隊附ヲ命ス	同	辻和秀
第三十四設營隊附ヲ命ス	同	今野泉彌
大湊海軍施設部勤務ヲ命ス	同	八木清一
(各通)	同	細川義夫
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	大津敏夫
橫須賀海軍施設部勤務ヲ命ス	同	小森通夫
海軍航空本部勤務ヲ命ス	同	田川正人
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	本島亥三郎
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	相馬一雄
(各通)	同	岡本米次郎
舞鶴海軍施設部勤務ヲ命ス	同	古澤光年
橫須賀海軍施設部勤務ヲ命ス	同	根岸一朝
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	同	天津正八
鎮海海軍施設部勤務ヲ命ス	同	戸水文雄
吳海軍工廠勤務ヲ命ス	同	工藤・保文
佐世保海軍工廠勤務ヲ命ス	同	吉田唯夫
	同	吉川丈夫

0282

(各通)	海軍接手	沖
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	小森茂美
(各通)	同	生島米一
同	同	那須利男
(各通)	同	淺野鋼一
同	同	大島久藏
横須賀海軍施設部勤務ヲ命ス	同	小倉清
(各通)	同	白石昇
同	同	長井次夫
同	同	原本勝利
同	同	門家精吉
同	同	中塔太郎
吳海軍施設部勤務ヲ命ス	同	関根三郎
佐世保海軍施設部勤務ヲ命ス	海軍警査	山本治男
第二南遣艦隊軍法會議附ヲ命ス(以上並同海軍省)		

海軍公報 (部内限) 第四千六百號

昭和十九年一月二十六日
海軍大臣



令 達

官房人機密第二一〇號

(限 内 部)

當分ノ間所轄長ハ必要アル場合ニ於テハ搭乗整備員ニ非ズル掌整備兵ニシテ大型機搭乗整備ノ經驗ヲ有スル者又ハ特ニ教育ヲ行ヒタル者ニシテ昭和十七年官房機密第一四八一六號ニ依ル飛行機新搭乗員特別教育終了者ト同等以上ノ技術ヲ有シ搭乗整備ノ要務ヲ執ラシムルニ適當ト認ムルモノニ對シ理由ヲ具シ所屬長官ノ認許ヲ得テ搭乗整備員トシテ認定スルコトヲ得但シ所屬長官ハ認許スルニ先チ海軍大臣ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

昭和十九年一月二十五日

海軍大臣

海軍公報 (部内限) 第四千六百號 昭和十九年一月二十六日

九七

通 牒

官房軍第八八號

昭和十九年一月二十五日

海軍次官

各 鎮 守 府 司令長官
大湊、大坂、警備府
鎮海、高雄、警備府
海軍練習聯合航空總隊司令官
海軍軍醫學校 長 殿

軍醫長打合會議ニ關スル件申進
首題ノ件左記ニ依リ開催相成候條參集セシメラレ度
追テ所要旅費ハ請求ヲ俟テ配付セラレ候
記

- 一 開催期日 昭和十九年二月 (二十二日) (火)
- 二 場 所 海軍省醫務局 (二十三日) (水)
- 三 參集者 各鎮守府軍醫長
各警備府軍醫長 (除海南)
海軍練習聯合航空總隊軍醫長

各海軍病院長(除外地)
海軍軍醫學校長
海軍療品廠長
四 打合事項
從來ノ戰訓ニ鑑ミ更ニ今後ノ長期戰ニ
對處シ海軍醫務衛生完遂上早急改善實
施ヲ必要トスル事項

官房軍第八七號

昭和十九年一月二十五日

海軍省 副官

關係廳長殿

武山海兵團分團ノ呼稱ニ關スル件通牒

神奈川縣横須賀市長井町ニ於ケル武山海兵團ノ施設ハ
之ヲ部内限リ武山海兵團分團ト呼稱スルコトニ定メラ
レ候

軍務第一三號

昭和十八年十二月二十五日

海軍省 軍務局長

關係廳長殿

送信所火災防止ニ關スル件申進

昭和十七年十二月二十三日大湊海軍通信隊近川分遣隊

ハ送信機室天井裏ヨリ出火全燒セル處火災事故査問會
ニテ査定ノ結果大力量長波送信機送信ニ依リ電熱用電
線ヲ通シアル鐵管ニ誘起電力ヲ生ジ天井裏ヨリ火災ヲ
生ジタルモノト推定セラレ候條關係各廳ニ於テ至急調
査ノ上火災防止ニ關シ遺憾ナキヲ期スルト共ニ關係工
事施行ニ當リテハ特ニ左記事項ニ留意スル様取計相成
度

記

- 一 空中線引込部ノ絶縁ノ完壁及附近導體ニ對スル誘起電力防止策ヲ講ズルコト
- 二 大力量長波送信機及該空中線附近ニ大ナル金屬物體ヲ敷設セザルコト
已ムヲ得ズ金屬物體ヲ敷設スル場合ハ適當ナル碍子ヲ使用シ數箇所ニ完全ナル地絡ヲトル等ノ措置ヲ講ズルコト
- 三 各種電線導體等ハ出來得ル限リ監視シ得ル位置ニ敷設スルト共ニ天井裏ハ容易ニ見通シ點檢可能ナル如ク施工スルコト

軍需機密第三九號

昭和十九年一月二十五日

0285

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

銃劍術要具制式改正並ニ使用區分等ニ關
スル件照會

首題要具ノ制式ヲ銃劍術、劍道兼用(右甲手ヲ附ス)
ノモノニ改メ之ヲ銃劍術要具トシテ供給シ劍道要具ハ
當分ノ間學生練習生等ノ外供給セラレザルコトニ定メ
ラレ候條了知相成度

追テ既供給ノ銃劍術及劍道要具ハ命數限リ使用ノコ
トトシ要スレバ既供給銃劍術要具ニ對シ右甲手ヲ追
加シ供給セラルルニ付劍道要具トシテ使用スル等可
然取計ヲ得度

○ 辭令

給月俸六拾圓

海軍書記、石澤 一

海軍技手 齋藤 義夫

同 山岸 源藏

同 熊田 義忠

同 猪狩 良

同 河崎 健一

(各通)

給五級俸

同 村田 正明

給月俸七拾圓

同 柚原 哲雄

月俸五拾五圓ヲ給ス

海軍監獄看守 川上 川市

月俸五拾圓ヲ給ス(以上昭和十八年海軍省)

海軍警査兼看守 鈴木長太郎

横須賀海軍工廠附ヲ命ス(同)

海軍技手 雙田 廣吉

吳海軍工廠勤務ヲ命ス(同)

海軍技手 満田 虎一

第十一海軍軍用郵便所員ヲ免ス

事務員 佐藤 龍一

(各通)

遞信手 才木 一秀

第八海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上同)

事務員 小林 幸夫

(各通)

海軍書記 大坪 榮

海南海軍特務部附ヲ命ス

同 松本 良隆

ボルネオ民政部附ヲ命ス

同 小島 義郎

海軍公報(部内限) 第四千六百號 昭和十九年一月二十六日

九九

0286

(各通)

海軍書記 古澤 輝彦

同 加藤 房次郎

ニューギニア民政部附ヲ命ス

同 本多 織太郎

ホルネオ民政部附ヲ命ス

同 深澤 嘉彦

(各通)

同 小田原 堅一

ニューギニア民政部附ヲ命ス

同 海軍教員 清水 典壽

第四艦隊司令部附ヲ命ス(以上ヲ訪海軍省)

軍令部課長海軍大佐 山岡 三子夫

第二部第三課長兼同第四課長ヲ命ス

軍令部部員海軍中佐 土肥 一夫

第一部第一課勤務ヲ命ス(以上ヲ訪軍令部)

海軍大佐 山岡 三子夫

參謀部第二部第三課長兼同第四課長ヲ命ス

海軍中佐 土肥 一夫

參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス(以上ヲ訪大本營海軍部)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更
第十五潜水隊司令ハ一月十日司令潜水艦ヲ伊號第四十一潜水艦ニ變更セリ

○感狀授與通知
自昭和十七年八月二十八日 期間第十一航空戰隊司令部ニ勤務至同十八年四月十五日 記履歴記註及功績明細書追記通知方現セル者ニ對シ左記履歴記註及功績明細書追記通知方現所轄ニテ取計ハレ度

年 月 日	事 記
一八、九、一五	昭和十七年八月下旬外南洋部隊水上航空部隊ニ屬シ「シヨウトランド」島ニ進出「ガダルカナル」島方面作戦ニ參加シタル功績ニ對シ聯合艦隊司令長官ヨリ部隊感狀ヲ授與セラル

(第十一航空戰隊司令部殘務整理員)

○文書再送ニ關スル件
本宛船文書損燒(昭和十八年十二月十八日海軍公報(部内限)雜款欄參照)ニ付昭和十八年九月二十日以降十二月十五日迄ノ間發送ノ文書至急再送付相成度
(白 山 丸)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千六百一號

昭和十九年一月二十七日(木)
海軍大臣官

○ 辭 令

軍需事務官 川崎 立太

軍需屬 木村 豊雄

同 長澤 幸雄

(各通)
第八艦隊司令部附ヲ免ス(海軍省)

海軍大佐 池田 福男

海軍武功調査委員ヲ命ス

海軍規格審議會議員ヲ命ス

能率増進對策調査委員會委員ヲ命ス(海軍省)

海軍主計中尉 助川 直正

第四海軍經理部クエゼリシ支部國防獻金、恤兵金、

學藝技術獎勵金分任出納官吏ヲ命ス

第四海軍經理部クエゼリシ支部ニ要スル給與及其ノ

他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計大尉 島 清

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上海軍省)

海軍經理局長)

糧食生産班員ヲ命ス(海軍省軍需局)

海軍技師 潮川 間 忠 謹(日鐵)

鐵藥莖生産對策委員會委員ヲ命ス

志賀 芳雄(日鐵)

鐵藥莖生産對策委員會委員ヲ免ス(以上海軍艦

政本部)

○ 雜 款

○書類誤送ノ件

佛印方面ニ於ケル第八十一警備隊ハ昭和十六年十一月二十日廢止第十一特別根據地隊ニ改編セラレ現在新設ノ第八十一警備隊トハ全然別個ノモノナル處第八十一警備隊關係書類ヲ當隊宛誤送多キニ付自今左記ニ依ラレ度

記

第八十一警備隊 横須賀局氣付 ヲ壹〇五 ヲ壹貳九

第十一特別根據地隊

佐世保局氣付 イ壹〇 イ壹壹

植付 海軍公報(部内限) 第四千六百一號 昭和十九年一月二十七日

一〇二

0288



(第十一特別根據地隊)

○開隊
大井海軍航空隊上海分遣隊ハ上海海軍航空隊トシテ獨立一月十五日中華民國上海市ニ於テ開隊セリ

○事務開始
第二十一海軍航空廠鹿屋支廠鹿兒島補給工場ハ昭和十八年十一月二十一日鹿兒島市郡元町ニ於テ事務ヲ開始セリ

驛……………西鹿兒島驛下車
電車……………郡元停留所下車

第二十一海軍航空廠鹿屋支廠出水補給工場ハ昭和十八年十一月二十一日鹿兒島縣出水郡出水町ニ於テ事務ヲ開始セリ

驛……………鹿兒島本線西出水驛下車

北黎海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ハ昭和十八年十二月十五日イ一三内ニ於テ事務ヲ開始セリ

菲島方面海軍航空廠(假稱)設立準備委員ハ南西方面航空廠「マニラ」分工場ニ於テ昭和十八年十二月二十八日事務ヲ開始セリ

海防艦能美艦裝具事務所ハ一月十三日大阪市此花區櫻島南之町十七番地日立造船株式會社櫻島造船所内ニ於

テ事務ヲ開始セリ

第二號海防艦裝具事務所ハ一月十八日横須賀海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ
電話 准士官以上事務所 横工廠 一〇六番

○事務所撤去
上海海軍航空隊(假稱)設立準備員事務所ハ一月十五日之ヲ撤去セリ

○十版内令提要追録第十三號一月二十五日發送濟ニ付受領ノ上ハ速ニ加除整理ヲ施行シ至急受領票送付アリ

(海軍省副官)

○取消
昭和十八年五月一日附海軍公報號外一頁下段二十行目石澤一、同一頁上段六行目川上川市、同十八行目鈴木長太郎ノ增俸辭令ハ孰モ取消

○正誤
一月十日附海軍公報(部内限)辭令欄二八頁上段十九行目「吳海軍施管隊」ハ「吳海軍施設部」ノ、一月二十四日附海軍公報(部内限)辭令欄九一頁下段十九行目「參謀本部特務班班員」ハ「參謀部特務班班員」ノ孰モ誤

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千六百二號

海軍大臣

海軍大臣 接

○ 令 達

官房備第四號

昭和十九年一月二十七日

海 軍 次 官

各鎮守府司令長官
 各警備府司令長官
 海軍總司令部長官
 海軍航空本部長
 海軍施設本部長
 海軍省軍需局長
 海軍省軍需局長
 工員養成所青年科及青年勤務員養成所ノ
 教育ニ關スル件申進

工員養成所青年科及青年勤務員養成所ノ教育ハ工員養成所教育規程及青年勤務員教育要領ニ拘ラズ當分ノ間左記ニ依ルコトニ定メラレ候

記

工員養成所青年科第一本科、第二本科及青年勤務員養成所本科第一部ノ各學年ニ於テ各教授及訓練科目ノ教授及訓練時數

第一本科及本科第一部

合 計	教 練 科	職 業 科	普 通 學 科	公 民 身 及	修 身 及	及訓練科目			
						學 年	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年
二九〇以上	七〇以上	一五〇以上	五〇	二〇	二〇	第一學年	二〇	第二學年	二〇
二一〇以上	七〇以上	一二〇以上	〇	二〇	二〇	第一學年	二〇	第二學年	二〇
一八〇以上	七〇以上	九〇以上	〇	二〇	二〇	第一學年	二〇	第二學年	二〇
一八〇以上	七〇以上	九〇以上	〇	二〇	二〇	第一學年	二〇	第二學年	二〇

海軍公報(部内限) 第四千六百二號 昭和十九年一月二十八日

一〇三

0290

備考

- (一) 修身及公民科教育ハ各廳ニ於テ實施スル諸訓示及講話等ヲモ教授時數トシテ取扱ヒ日常生活ニ於ケル躰實踐教育ヲ主眼トス
- (二) 職業科教育ハ各職場ニ於ケル職員職長等ヲ以テ指導員トシ職場ニ於ケル勤務ヲ以テ其ノ時數トスルコトヲ得
- (三) 第一本科第一學年ノ全課程(職業科及教練科ニ在リテハ最低時數)ハ入所後三ヶ月以内ニ之ヲ修了セシムルモノトス
- (四) 普通學特ニ數學及理科ノ補習教育ハ寄宿舍等ニ於ケル自學自修ニ俟ツモノトシ努メテ之ガ指導獎勵ヲ行フモノトス

○通牒

官房機密第五〇號

昭和十九年一月二十八日

各廳長 殿

海軍省 副官

内令員號配布先ニ關スル件申進

昭和十九年二月一日ヨリ内令員號發布セラルル處之ガ

配布先ニ關シテハ事務簡捷及資材節約ノ見地上必要ノ向ノミトシ當分ノ間左記ノ通定メラレ候條了知相成度

記

- 一 海軍省各局部、海軍艦政本部、海軍航空本部、海軍施設本部、軍令部、侍從武官府
- 二 各司令部
- 三 各海軍人事部(地方海軍人事部ヲ含マズ)、各海軍經理部、各海軍軍需部、各特設海軍補充部
- 四 當該廳但シ驅逐艦、潜水艦等隊ヲ編成スルモノニ在リテハ各驅逐隊及當該驅逐艦、各潜水隊及當該潜水艦等

○辭令

(各通) 千八百圓

千參百七拾圓

徵用中自今年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(昭和十九年海軍省)

(各通)

東京海軍通信隊附ヲ免ス(昭和十九年同)

第三十九海軍軍用郵便所員ヲ免ス(昭和十九年同)

江藤 正年

塘 常雄

通信書記 安原 仲治

同 古川 春夫

同 沖谷 一郎

東京海軍通信隊附ヲ免ス(昭和十九年六月三日同)

同 田上 研敬

(各通)

新竹海軍航空隊附海軍技手

大石 繁廣

同 田中 忠雄

臺南海軍航空隊附ヲ命ス(二〇同)

海軍書記 元木 常太郎

依願免本官

海軍警査兼海軍監獄看守 寺島 吉郎

(各通)

同 渡邊 豊美

兼海軍監獄看守ヲ免ス

同 足立 春男

(各通)

南西方面艦隊軍法會議附兼第二南遣艦隊軍法會議附海軍警査 寺島 吉郎

東京軍法會議附兼高等軍法會議附ヲ命ス

東軍軍法會議附兼高等軍法會議附海軍警査 川又 憲太郎

南西方面艦隊軍法會議附兼第二南遣艦隊軍法會議附ヲ命ス

同 佐藤 榮太郎

第四南遣艦隊軍法會議附ヲ命ス

第三南遣艦隊軍法會議附ヲ命ス(以上三〇五同)

同 馬淵 清包

防備關係調査研究委員會一般委員(幹事)ヲ命ス 海軍大佐 猪口 敏平

同 山岡 三子夫

防備關係調査研究委員會一般委員ヲ命ス

防備關係調査研究委員會第三分科會委員(幹事)ヲ命ス

造船委員會第一委員會委員ヲ命ス

燃料政策調査會委員ヲ命ス

能率増進對策調査委員會委員(幹事)ヲ命ス

地方事情査察委員會幹事ヲ命ス

海軍中佐 山内 英一

海軍學生銓衡委員會ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ命ス

防備關係調査研究委員會第三分科會委員ヲ命ス

同 福地 誠夫

海軍學生銓衡委員會ヲ命ス

海軍武功調査委員會ヲ命ス

(幹事) 海軍大佐 猪口 敏平

同 金岡 知二郎

(各通)

海軍中佐 山内 英一

同 阿金 一夫

同 木暮 寛

同 北村 肇

同 三井 謙二

海軍少佐 神川 茂紀

防備關係調査研究委員會第二分科會委員ヲ命ス

通信書記 樋口 利介

第三十九海軍軍用郵便所員ヲ命ス(以上三員同)

海軍少尉 森山 實

第四海軍施設部ブラウン派遣隊ニ要スル給與及其ノ

他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍技手 倉持 弘

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上三員支出官 海軍省

經理局長)

海軍主計中尉 木下 皓嗣

第二〇四設營隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ

爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(三員同)

海軍大佐 曾我 清

整備班員ヲ命ス(五員 海軍省軍需局)

整備班員ヲ命ス(三員同)

海軍少佐 酒井 晋一郎

○ 雜 款

○事務開始

第二百三十三設營隊ハ一月十日舞鶴海軍施設部内ニ於テ事務ヲ開始セリ

京城海軍監督官事務所ハ一月十五日京城在勤海軍武官府内ニ於テ事務ヲ開始セリ

第十二魚雷艇隊事務所ハ一月二十日吳海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ
電話吳工廠 三八八三番

○解隊

佐世保鎮守府第五特別陸戰隊ハ一月一日附解隊ニ付同隊宛郵便物ハ左ヘ送達相成度

佐世保海軍經理部殘務整理班氣付

海軍竹内部隊殘務整理員

(佐世保鎮守府第五特別陸戰隊殘務整理員)

○本日普通公報發行セズ